

## 第 18 回定期研究会 『TECUM 数理教育セミナー』

日時：2022 年 2 月 20 日（日） 10:00-17:00

場所：日本大学文理学部キャンパス本館 5 階 & Zoom による実時間配信

事務局：TECUM 機関誌委員会 (secretariat@flexcool.net)

### タイムスケジュール

1. 10:00-10:10 – 開会の挨拶 –
2. 10:10-10:30 – 自己紹介 & 近況報告 –
3. 10:30-10:50 『連立方程式の解法と多項式の割り算』 松並 奏史
4. 10:50-11:20 『極値を逆の方から考える』 平尾 淳一
5. 11:20-11:30 《企画趣旨説明》 谷田部 篤雄（茗溪学園中学校高等学校）
6. 11:30-12:00 『特集「数学における問題とは何か」企画を受けて』 長岡 亮介
7. 12:00-12:50 – 昼食休憩 –
8. 12:50-13:00 –（午後から参加の方の）自己紹介 & 近況報告 –
9. 13:00-13:20 『drill と practice の分類』 青柳 良（茗溪学園中学校高等学校）
10. 13:20-13:40 『大学入試対策演習からみる Drill & Practice』 磯山 健太（茗溪学園中学校高等学校）
11. 13:40-14:00 『「Drill&Practice」～高校数学教育における不十分な十分性の指導～』 江森 勇希（埼玉県立浦和東高等学校）
12. 14:00-14:20 『有意義な drill（反復）の勧め』 山本 優希（聖パウロ学園高等学校）
13. 14:20-14:40 『無能教員の釈明』 前田 英二
14. 14:40-15:00 『「問題を解くこと」と「その意味」』 東盛 克己（元高校数学教諭）
15. 15:00-15:20 『高校数学において「問題を解く」ことの意味』 松野 智博（岐阜県立大垣北高等学校）
16. 15:20-15:40 『drill であるか， practice であるか，それが“問題”だ』 谷田部 篤雄／新妻 翔（茗溪学園中学校高等学校）
17. 15:40-16:00 《中高現場の立場からの発表に関する質疑・意見交換》
18. 16:00-16:20 『数学の理解を促すレポート課題』 山浦 義彦（日本大学文理学部）
19. 16:20-16:40 『問題演習は何のためか：大学と大学院での教育現場から』 石渡 通徳（大阪大学大学院基礎工学研究科）
20. 16:40-16:55 《大学大学院の立場からの発表に関する質疑・意見交換》
21. 16:55-17:00 – 次回研究会について & 閉会の挨拶 –